

令和5年5月19日
近畿総合通信局

大阪大学及び奈良先端科学技術大学院大学の研究開発を支援

— 令和5年度研究開発課題の採択結果の公表 —

総務省は、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）※の令和5年度電波有効利用促進型研究開発の公募について、外部評価の結果、近畿総合通信局（局長：井上知義（いのうえ ともよし））管内から応募のあった2件の研究開発の課題を採択しました。

採択されたのは、大阪大学（所在地：大阪府吹田市）及び奈良先端科学技術大学院大学（所在地：奈良県生駒市）の2件の研究開発課題です。

なお、全国では36件の応募があり、採択件数は21件となっています。

管内2件の概要は別紙のとおりです。

※戦略的情報通信研究開発推進事業

（SCOPE：Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme）

情報通信技術（ICT）分野において新規性に富む研究開発課題を大学・独立行政法人・企業・地方自治体の研究機関などから広く公募し、外部有識者による選考評価の上、研究を委託する競争的資金です。

○関連報道発表 [総務本省発表]

- ・戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の令和5年度電波有効利用促進型研究開発の公募の結果

（令和5年5月19日）

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000475.html

- ・戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の令和5年度研究開発課題の公募
（令和4年12月23日）

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000454.html

（連絡先）

近畿総合通信局 無線通信部 電波利用企画課

担当：畠山、中野

電話：06-6942-8543

Eメール：scope-kikakukinki/atmark/soumu.go.jp

（注）スパムメール防止のため、「@」を「/atmark/」と表記しています。

令和5年度 採択課題一覧(近畿総合通信局管内)

課題名	研究代表者 (所属機関)	研究分担者 (所属機関)	概要	予定 期間
フェーズドアレイ気象レーダーによるドローン・空飛ぶクルマの検知能力実証	和田 有希 (大阪大学)	牛尾 知雄 (大阪大学) 牛腸 正則 花土 弘 佐藤 晋介 川村 誠治 (国立研究開発法人 情報通信研究機構)	本研究開発ではゲリラ豪雨や線状降水帯といった極端事象の高速かつ高密度 3次元観測が可能なマルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダーによって、今後急速に普及すると見込まれるドローンや空飛ぶクルマを検知し、管制する能力の実証を目的とする。これは気象観測用に開発されたマルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダーが多目的レーダーとして運用される可能性を実証するもので、複数のレーダーの機能を1つに集約することで周波数の効率的な利用に寄与するものである。	1か年度
実効的無線有効利用のためのレイヤー体通信制御の研究	妙中 雄三 (奈良先端科学技術大学院大学)	池永 全志 野林 大起 塚本 和也 (九州工業大学) 藤井 威生 (電気通信大学) 太田 真衣 (福岡大学)	本研究は、アプリケーションのデータ遅延・損失への許容度に応じた提供品質の調整幅を活用し、通信制御を無線環境に連動させるレイヤー体通信制御技術を実現することで、真に必要なデータ送信のために限りある無線資源を活用する、無線資源の実効的な利用効率を向上させることを目的とする。	1か年度